クイックスタートガイド

JP



VLS SERIES

VLS 30
Passive Column Array Loudspeaker with 30 Drivers and FAST Dispersion Control for Installation Applications

VLS 15 (EN 54)
Passive Column Array Loudspeaker with 15 Drivers and FAST Dispersion Control for Installation Applications (EN 54-24 Certified)

VLS 7 (EN 54)
Passive Column Array Loudspeaker with 7 Full Range Drivers and FAST Dispersion Control for Installation Applications (EN 54-24 Certified)

V 1.0

TANNOY

JP

JP 安全にお使いいただくために





注意

感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル（¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル）を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ（三芯）プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。
14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。
15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。
18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。
19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。
20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。
21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2022 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

JP

前書き

Tannoy の幅広いコラムスピーカーラインに最近追加された VLS シリーズは、Tannoy 独自のイノベーションである FAST (Focussed Asymmetrical Shaping Technology) を導入しています。高く評価されている QFlex シリーズのトランスデューサーテクノロジーと革新的な新しいパッシブクロスオーバーデザインを組み合わせることで、FAST は、垂直軸の下象限に向かって音響カバレッジを穏やかに形成する非対称垂直分散パターンなど、優れた音響効果を提供します。VLS7 および 15 は、火災検知および火災警報システムでの使用について EN54 -24 認定を受けています。

このクイックスタートガイドでは、VLS シリーズスピーカーを適切に開梱、接続、構成するために必要な重要な情報のみを紹介しています。低インピーダンス対 70 / 100 V 動作、複雑なラウドスピーカーシステム構成、ケーブルタイプ、イコライゼーション、電力処理、リギングと安全手順、および保証範囲の詳細については、完全な VLS シリーズ操作マニュアルを参照してください。

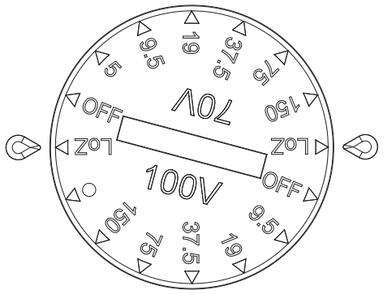
開梱

各 Tannoy VLS シリーズスピーカーは、出荷前に慎重にテストおよび検査されています。 開梱後、外部の物理的な損傷がないか検査し、スピーカーが再び梱包と輸送を必要とする場合に備えて、カートンと関連する梱包材を保管してください。輸送中に損傷が発生した場合は、すぐに販売店と配送業者にご連絡ください。

コネクタとケーブル

VLS シリーズスピーカーは、内部で並列化されたバリアストリップコネクタのペアを使用して、アンプ (または 70/100 V システムまたは直列/並列構成の他のスピーカー) に接続されます。

すべての VLS シリーズモデルは、低インピーダンススピーカーとして、または 70 / 100 V 分散システム内で操作できます。動作モードは、キャビネットの背面にある 1 つのスイッチで選択できます(以下を参照)。



低インピーダンスモードでの動作では、多くの場合、 70 / 100 V 分散システムに必要なケーブルよりも大きな直径のケーブルを使用する必要があります。さまざまなアプリケーションに推奨されるケーブルタイプについては、完全な VLS 操作マニュアルを参照してください。

Low-Z および変圧器タップ選択用スイッチ

背面入力パネルのマルチポジションロータリースイッチは、低インピーダンス動作モードまたは使用可能な変圧器タップを備えた高インピーダンスモード (70 V または 100 V) のいずれかを選択します。分散型ラインシステムで VLS シリーズスピーカーを使用する場合、変圧器は次の表に示す利用可能な電力レベルでタップできます。

70 V	100 V
5 W	9.5 W
9.5 W	19 W
19 W	37.5 W
37.5 W	75 W
75 W	150 W
150 W	—

すべてのトランス一次側は、アンプの出力に並列に接続する必要があります。接続されているすべてのスピーカーの選択されたタップ設定の合計電力定格 (ワット) は、接続されているアンプ出力チャネルの合計出力電力定格 (ワット) を超えてはなりません。フル定格出力での連続的なアンプ動作を回避するために、スピーカーの総電力要件とアンプ出力容量の間に十分な電力安全マージン (最小 3 dB のヘッドルーム) を維持することをお勧めします。

JP

コネクタの配線

低インピーダンス (8 オーム) モード

低インピーダンスモードでアンプに直接接続する場合は、正 (+) 導体を正 (+) バリアストリップ端子に接続し、負 (–) 導体を負 (–) 端子に接続します。他の内部並列バリアストリップコネクタを使用して、複数のスピーカーを 1 つのアンプ出力に並列、直列、または直列/並列構成で接続することをお勧めします。.

詳細については、VLS シリーズの完全な操作マニュアルを参照してください。

定電圧 (70 V / 100 V) モード

定電圧分散システムでは、通常、複数のスピーカーが単一のアンプ出力に並列に接続されます。システム内のアンプまたは以前のスピーカーからの正 (+) 導体を正 (+) バリアストリップ端子に接続し、負 (–) 導体を負 (–) 端子に接続します。 もう 1 つの平行バリアストリップは、追加のスピーカーを接続するために使用できます。.

屋外アプリケーション

直角の水密ケーブルグランドには、屋外アプリケーションで使用するための VLS 7 (EN 54) および VLS 15 (EN 54) が付属しています (図 1)。VLS 30 には、屋外アプリケーションで使用するためのゴム製配線グロメット付きの入力パネルカバーがあります (図 2)。接続する前に、ワイヤーをケーブルグランド/ラバーグロメットに通します。入力パネルカバーは、入力の周りにすでに挿入されている 4 本のネジを使用してキャビネットに固定されています。

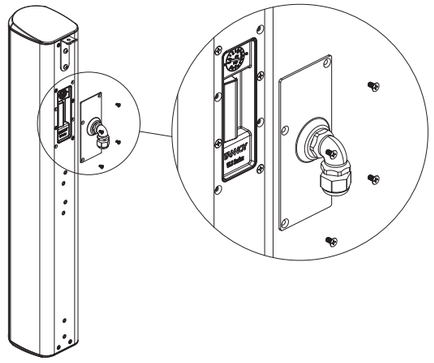


Fig.1 VLS 7 (EN 54) and VLS 15 (EN 54)

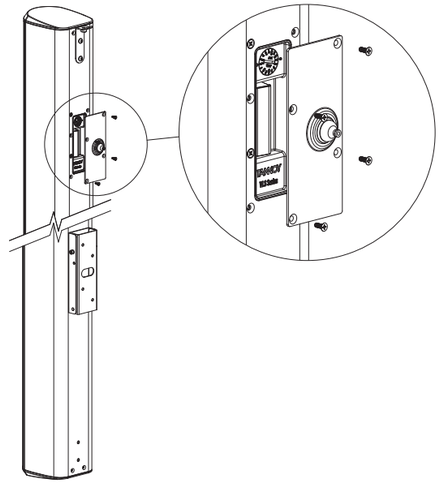


Fig.2 VLS 30

非対称の垂直パターン：取り付けと飛行

VLS シリーズスピーカーは、非対称の垂直分散パターンで設計されています。これは、多くのアプリケーションでの取り付けを簡素化してパフォーマンスを向上させる機能です。 VLS 7 (EN 54) および VLS 15 (EN 54) モデルの垂直方向の分散は中心軸から + 6 / -22 度ですが、 VLS30 のパターンは中心軸から +3 / -11 度です。.

インストールを計画するときは、この機能に注意してください。従来のコラムスピーカーが大幅な下向きの傾斜を必要とする多くの状況では、 VLS シリーズスピーカーは傾斜が少なくてすむか、フラッシュマウントが可能になるため、設置が簡単になり、見た目の美しさが向上します。.

取り付けと固定

ウォールブラケット

各 VLS シリーズスピーカーには、ほとんどの壁面への取り付けに適した標準の壁掛けブラケットが付属しています。ブラケットは、2 つのインターロッキングUプレートとして提供されます。1 つのプレートは、付属の 4 本のネジでスピーカーの背面に取り付けられます。他の部分は壁に固定されています。スピーカープレートの下部にあるバーがウォールプレートの下部のノッチにスライドし、上部が付属の 2 本のネジで固定されます。VLS 7 (EN 54) および VLS 15 (EN 54) のブラケットは、0~6 度の角度ができるようにスロットが付いています (図 3)。VLS 30 の上部の 2 つのネジ穴を揃えると、平らなフラッシュマウントになります。下の 2 つのネジ位置を使用すると、4 度下向きに傾斜します。(図 4)

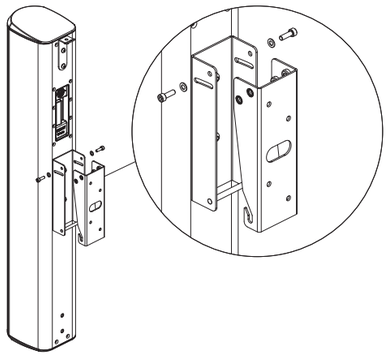


Fig.3 VLS 7 (EN 54) and VLS 15 (EN 54)

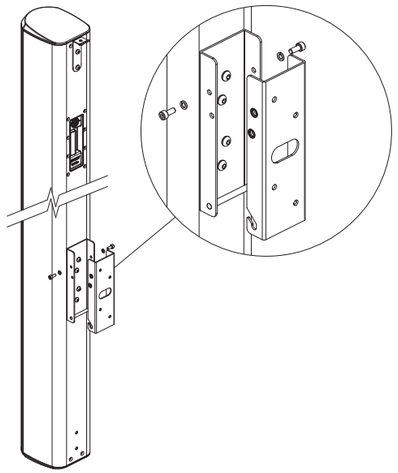


Fig.4 VLS 30

フライングブラケット

各 VLS シリーズスピーカーにはフライングブラケットも付属しています。 ブラケットは、付属の M6 ネジを使用して上部の 2 つのインサートに取り付けられます (図 5)。 必要に応じて、2 つの下部インサートをプルバックとして使用できます。.

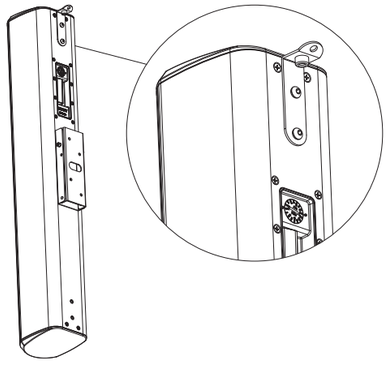


Fig.5 All Models

JP

パンチルトブラケット (オプション)

水平軸と垂直軸の両方に沿って柔軟な方向にパンおよびチルトできるパンチルトブラケットが利用可能です。取り付け手順はブラケットに付属しています。

リギングと安全手順

専用ハードウェアを使用した Tannoy スピーカーの設置は、設置場所で適用されるすべての必要な安全コードと基準に従って、完全に資格のある設置者のみが実行する必要があります。

警告: 飛行の法的要件は国によって異なるため、製品を設置する前に、最寄りの安全基準局にご相談ください。また、設置前に法令を十分に確認することをお勧めします。リギングハードウェアと安全手順の詳細については、VLS シリーズの完全な操作マニュアルを参照してください。

屋外用途

VLS シリーズスピーカーは、ほこりや湿気の侵入に対する耐性が IP64 と評価されており、塩水噴霧と UV 曝露の両方に耐性があるため、ほとんどの屋外アプリケーションでの使用に適しています。長時間の大雨、長時間の極端な温度など、悪環境条件に極端にさらされるアプリケーションに設置する前に、Tannoy 販売店にご相談ください。

重要な注意点: 恒久的に設置されたサウンドシステムの取り付けは、必要なタスクを実行するために必要な経験と認定を受けた資格のある担当者が行わない限り、危険な場合があります。 壁、床、または天井は、実際の荷重を安全かつ確実に支えることができなければなりません。使用する取り付けアクセサリは、スピーカーと壁、床、または天井の両方に安全かつ確実に固定する必要があります。

リギングコンポーネントを壁、床、または天井に取り付けるときは、使用するすべての固定具と留め具が適切なサイズと定格荷重であることを確認してください。壁と天井のクラッディング、および壁と天井の構造と構成はすべて、特定の固定配置を特定の負荷に対して安全に使用できるかどうかを判断する際に考慮する必要があります。キャビティプラグまたはその他の専門的な固定具は、必要に応じて適切なタイプである必要があり、メーカーの指示に従って取り付けて使用する必要があります。

フライングシステムの一部としてスピーカーキャビネットを操作すると、正しく取り付けられていないと、深刻な健康上のリスクにさらされたり、死亡する可能性があります。さらに、設置または飛行の前に、電気的、機械的、および音響上の考慮事項について、資格のある認定された (地方の州または国の当局による) 担当者と話し合うようにしてください。

スピーカーキャビネットは、ユニットに付属の専用機器と元の部品およびコンポーネントを使用して、資格のある認定された担当者のみがセットアップおよび飛行するようにしてください。不足している部品やコンポーネントがある場合は、システムのセットアップを試みる前にディーラーに連絡してください。

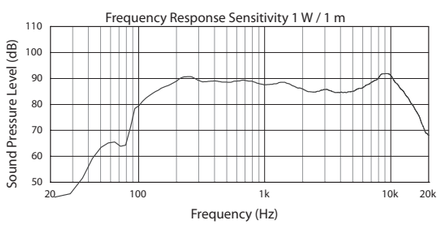
お住まいの国で適用される地域、州、およびその他の安全規制を必ず遵守してください。同封の「サービス情報シート」に記載されている MusicTribe の会社を含む、Music Tribe は、製品の不適切な使用、設置、または操作に起因するいかなる損害または人身傷害についても責任を負いません。 システムが安全で安定した状態に保たれていることを確認するために、資格のある担当者が定期的にチェックを行う必要があります。 スピーカーが飛んでいる場所では、スピーカーの下の領域に人身売買がないことを確認してください。一般の人が立ち入りまたは使用できる場所にスピーカーを飛ばさないでください。

スピーカーは、動作していない場合でも磁場を生成します。したがって、このようなフィールドの影響を受ける可能性のあるすべての資料 (ディスク、コンピューター、モニターなど) は安全な距離に保管してください。安全な距離は通常 1~2 メートルです。

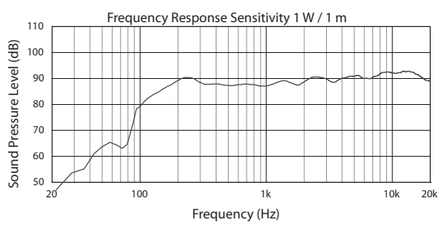
技術仕様

システム	VLS 7 (EN 54) / VLS 7 (EN 54)-WH	VLS 15 (EN 54) / VLS 15 (EN 54)-WH	VLS 30 / VLS 30 -WH
System			
周波数応答	以下のグラフ 1 # を参照してください	以下のグラフ 2 #を参照してください	120 Hz - 22k Hz ± 3dB 90 Hz - 35 kHz - 10 dB
水平分散 (-6 dB)	130°H		
垂直分散 (-6 dB)	+ 6° / - 22° V (-8° バイアス)	+ 6° / - 22° V (- 8° バイアス)	+ 3° / - 11° V (- 4° バイアス)
パワーハンドリング (IEC)	平均 150 W、連続 300 W、ピーク 600 W	平均 200 W、 連続 400 W、ピーク 800 W	平均 400W、 連続 800 W、ピーク 1600 W
推奨アンプパワー	450 W @ 8 Ω	600 W @ 8 Ω	1200 W @ 4 Ω
システム感度	90 dB (1 m、Lo Z)	91 dB (1 m、Lo Z)	94 dB (1 m、Lo Z)
感度 (EN54-24 に準拠)	76 dB (4 M、トランス経由)		—
公称インピーダンス (Lo Z)	12 Ω		6 Ω
最大 SPL (EN54-24 に準拠)	91 dB (4 M、トランス経由)	96 dB (4 M、トランス経由)	—
定格最大 SPL	112 dB 連続、118 dB ピーク (1 m、Lo Z)	114 dB 連続、120 dB ピーク (1 m、Lo Z)	120 dB 連続、126 dB ピーク (1 m、Lo Z)
クロスオーバー	パッシブ、フォーカスされた非対称シェーピングテクノロジー (FAST) を利用		
クロスオーバーポイント	—	2.5 kHz	
指向性係数 (Q)	6.1 平均、1 kHz ~ 10 kHz	平均 9.1、1 kHz ~ 10 kHz	平均 15、1 kHz 〜 10 kHz
指向性指数 (DI)	平均 7.9、1 kHz ~ 10 kHz	平均 9.6、1 kHz ~ 10 kHz	平均 11.8、1 kHz 〜 10 kHz
コンポーネント	7 x 3.5 " (89 mm) フルレンジドライバー	7 x 3.5" (89 mm) ウーファー 8 x 1" (25 mm) メタルドームツイーター	14 x 3.5 " (89 mm) ウーファー 16 x 1" (25 mm) メタルドームツイーター
変圧器タップ (ロータリースイッチ経由) (定格ノイズ電力とインピーダンス)			
70 V	150 W (33 Ω) / 75 W (66 Ω) / 37.5 W (133 Ω) / 19 W (265 Ω) / 9.5 W (520 Ω) / 5 W (1000 Ω) オフおよび低インピーダンス動作		150 W / 75 W / 37.5 W / 19 W / 9.5 W / 5 W / オフおよび低インピーダンス動作
100 V	150 W (66 Ω) / 75 W (133 Ω) / 37.5 W (265 Ω) / 19 W (520 Ω) / 9.5 W (1000 Ω) / オフおよび低インピーダンス動作		150 W / 75 W / 37.5 W / 19 W / 9.5 W / OFF & 低インピーダンス動作
カバレッジ角度			
500 Hz	360° H x 129° V	226° H x 114° V	220° H x 41° V
1 kHz	202° H x 62° V	191° H x 57° V	200° H x 21° V
2 kHz	137° H x 49° V	131° H x 32° V	120° H x 17° V
4 kHz	127° H x 40° V	119° H x 27° V	120° H x 20° V
エンクロージャー			
コネクタ	バリアストリップ		
配線	端子 1 + / 2- (入力); 3- / 4 + (リンク)		
寸法 Hx W x D	816 x 121 x 147 mm (32.1 x 4.8 x 5.8")		1461 x 121 x 147 mm (57.5 x 4.8 x 5.8 ")
正味重量	10.8 kg (23. 8 ポンド)	11.7 kg (25.7 ポンド)	19 kg (41.8 ポンド)
建設	アルミ押し出し		
終了	ペイント RAL 9003 (白) / RAL 9004 (黒) カスタム RAL カラーをご利用いただけます (追加費用とリードタイム)		
終了	ペイント RAL 9003 (白) / RAL 9004 (黒) カスタム RAL カラーをご利用いただけます (追加費用とリードタイム)		
グリル	粉体塗装の穴あき鋼		

ノート:
(1) 平均の誇張された帯域幅。無響室の IEC バッフルで測定
(2) 軸上 1メートルで測定された重み付けされていないピンクノイズ入力
(3) IEC268-5 テストで定義されている長期電力処理能力
(4) 基準軸 (軸上) の基準点はバッフルの中心です



Graph 1# VLS 7 (EN 54)



Graph 2# VLS 15 (EN 54)

Remark: Horizontal is defined as below



JP

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe 認定再販業者がお近くにない場合は、当社の web サイトの “Support” に記載されているお住まいの国の MusicTribe 認定フルフィラーに連絡することができます。お住まいの国がリストにない場合は、当社の web サイトの “Support” にもある “Online Support” で問題に対処できるかどうかを確認してください。または、製品を返品する前に、当社の web サイトでオンライン保証請求を送信してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。